

学習の本質

研究の活用から実践へ

OECD教育研究革新センター【編著】

立田慶裕(国立教育政策研究所総括研究官)

平沢安政(大阪大学大学院人間科学研究科教授)【監訳】

佐藤智子／赤尾勝己／中澤智恵／岩崎久美子／有本昌弘
笛井宏益／福本徹／駒谷真美／荻野亮吾／野村和／村川雅弘【訳】

〔定価4,830円(本体4,600+税)◎A5判／上製／424頁／2013年3月刊行〕

人がどのように学習するかについて、私たちは何を知っているのだろうか？人はどのようにしてその知識を構成していくのか？若者の動機や感情は、その学習にどのように影響するのか？調べ学習、共同学習、テクノロジーの活用、形成的アセスメント、サービス・ラーニングなどの利点として、研究から明らかにされていることは何か？そうした学習法が最も効果的になるのはどのような場合か？そして、学習は家庭環境からどのような影響を受けるのか？

本書は、こうした問題について認知的、情動的、生物学的、社会学的観点から、欧米の代表的な研究者の実証的な根拠に基づく知見をもとに詳細な検討を進める。そして、学習の本質とさまざまな教育的実践の双方の研究成果から、21世紀に求められるスキルやコンピテンシーと優れた学習環境のあり方を提起する。本書がまとめた7つの重要な原理は次の通りである。

- 1) 学習者を中心とする
- 2) 学習の社会性を重視する
- 3) 感情が学習にとって重要である
- 4) 個人差を認識する
- 5) すべての生徒を伸ばす
- 6) 学習のアセスメントを活用する
- 7) 水平的な関係をつくる

本書は、効果的な実践と教育改革に向けた貴重な知識と考察を提供し、教室、学校、その他の環境で学習を最適化する方法に関心を寄せるすべての人にとって必須の文献である。

内容構成

- 第1章 21世紀の学習環境の分析と設計
——ハンナ・デュモン(チューリンゲン大学)ほか
- 第2章 学習についての理解の歴史的発展
——エリック・デ・コルテ(ルーヴェン大学)
- 第3章 学習の認知的視点：重要な10の知見
——マイケル・シュナイダー(チューリッヒ工科大学)ほか
- 第4章 教室での学習において、動機と感情が果たす重要な役割
——モニーカ・ペカルト(ライデン大学／ルーヴェン・カトリック大学)
- 第5章 発達と生物学的視点からみた学習
——クリスティーナ・ヒントン(ハーバード大学)ほか
- 第6章 形成的アセスメント：効果的な学習環境における役割
——ディラン・ウィリアム(ロンドン大学)
- 第7章 共同学習：何がグループワークを機能させるのか
——ロバート・E. スレイヴィン(ヨーク大学／ジョンズ・ホプキンス大学)
- 第8章 テクノロジーを活用した学習
——リチャード・E. メイヤー(カリフォルニア大学)
- 第9章 調べ学習：その可能性と挑戦
——ブリジッド・パロン(スタンフォード大学)ほか
- 第10章 サービス・ラーニング：学習資源としてのコミュニティ
——アンドリュー・ファーク(ミネソタ大学)
- 第11章 家庭と学校のパートナーシップ：子どもの学習と社会化への家族の影響
——バーバラ・シュナイダー(ミシガン州立大学)ほか
- 第12章 イノベーションの実践：空想的モデルから日常的実践へ
——ローレン・B. レズニック(ピットsburgh大学)ほか
- 第13章 21世紀の学習環境の方向性
——デビッド・イスタンス(OECD)ほか
- 付録 『学習の本質』実践用ガイド
——ハンナ・デュモンほか



明石書店 TEL.03-5818-1171
FAX.03-5818-1174
〒101-0021 東京都千代田区外神田6-9-5
図書目録送呈 <http://www.akashi.co.jp>

ご注文方法

なるべく最寄りの書店へ、このチラシご持参の上、ご注文ください。
直送ご希望の方は、左記電話またはFAXにて、弊社へお申し込みください。
代金引き替え郵便でお送りします。代金は配達の方にお支払いください。
書籍代(本体価格+消費税)に加え、送料として一律300円かかります。

●書店名・番線

学習の本質

研究の活用から実践へ

◎定価4,830円(本体4,600+税)

OECD教育研究革新センター【編著】 立田慶裕／平沢安政【監訳】

フリガナ
お名前 _____ TEL _____

住所 _____

冊

明石書店
TEL 03-5818-1171
FAX 03-5818-1174

ISBN978-4-7503-3785-2